

令和2年度 港区政策評価シート

1 政策名・所管部門

政策No.	15	都市観光の展開を支援する		
所管部	産業・地域振興支援部	関係部		

2 政策がめざす方向性

歴史的・文化的な観光資源、個性豊かな街並み、地域に密着した商店街、時代の最先端を行く企業の集積など伝統と現代が融合する世界に開かれた都市の魅力を生かし、国内外に向けた戦略的なシティプロモーションを推進します。区内の豊富な観光資源の情報を収集し、観光客の視点に立った多言語かつ双方向の情報発信を行います。観光客のニーズに対応した観光案内機能を充実するとともに、多彩な観光資源を生かした多様な主体との連携による観光ルートを整備し、都市観光の展開を支援します。

3 施策の取組状況（詳細別紙施策評価シート）

評価区分 A（達成）、B（概ね達成）、C（達成が不十分）

①	施策名	国内外に向けた戦略的なシティプロモーションの推進	評価	B
	成果目標	多様な主体と連携・協働したプロモーションが活発に展開され、港区の認知度や都市のイメージが向上している		
②	施策名	観光情報の収集・管理と観光客の視点に立った情報発信	評価	A
	成果目標	国内外からの観光客に対する観光情報が充実し、多言語での情報発信が実施されている		
③	施策名	快適な都市観光を満喫できる環境づくり	評価	B
	成果目標	観光客の受入体制が充実し、通信環境や観光案内等が整備されている		
④	施策名	観光資源の発掘、活用と観光ルートの創出	評価	A
	成果目標	観光ルートやイベント等が充実し、港区観光の質が向上している		
⑤	施策名		評価	
	成果目標			
⑥	施策名		評価	
	成果目標			

4 予算額・決算額・執行率（単位：千円）

年度	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度
予算額	272,693	244,577	267,140
流用・補正	△ 6,426	0	—
決算額	249,969	227,827	—
執行率	93.9%	93.2%	—

予算・決算額の推移	・各年開催である「港区ものづくり・商業観光フェア」の開催の年に当たること、また「港区観光振興ビジョン」の改定があることから、令和2年度は予算額が増加しています。
-----------	--

5 政策を取り巻く社会経済状況等		
計画期間中の社会経済状況等の変化 ・社会経済状況 ・人口動向（年少人口、生産年齢人口、老年人口） ・財政状況など	・新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた入国規制や外出自粛等により、観光客が大幅に減少し、観光業をはじめとした経済への深刻な影響が懸念されています。 ・3密を避ける新しい生活様式が推進され、人々の意識も変化しています。 ・東京2020大会が延期となり、関連イベントの見直しが図られています。 ・令和元年3月より羽田空港からの国際線が増便しています。 ・「高輪ゲートウェイ駅」と「虎ノ門ヒルズ駅」が開業し、周辺の再開発が進んでいます。 ・情報発信の手段としてSNSが活用されるようになり、区でもSNSによる情報発信を強化しています。	
区民ニーズ等 ※区民アンケートや調査、区民から寄せられた意見等	・新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ観光需要回復のための支援が必要です。 ・来訪者の関心や目的に沿ったプロモーションの展開として、ワールドプロモーション映像を作成し、区のホームページの他動画共有サイトを活用することで国内外の視聴者に発信しています。	
6 一次評価（所管部門による評価）		
政策の達成状況	施策の達成度	A:達成 2 B:概ね達成 2 C:達成が不十分 0
	・観光大使や協力企業・団体も港区の魅力発信を行っています。 ・港区観光協会と連携し、観光情報の一元化を行っています。また、多言語での発信、SNSを活用した発信等国内外に向けた発信を行っています。 ・観光ボランティアの育成が進んでいますが高機能型観光案内標識の設置は費用対効果に点から実施は見送っています。 ・観光協会、観光ボランティアガイドなど様々な主体と連携し、広く観光資源、観光ルートの充実を図っています。	
今後の政策の方向性 重点的・優先的に取り組む施策、課題等 ※国や東京都、他団体の動向、区民ニーズ等を踏まえる	・新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ観光需要の回復を目指し、収束後に観光客を区へ誘致する取組を実施します。 ・生活様式や環境の変化を捉え、誰もが安全・安心に区内観光を楽しめるよう配慮した取組を進めます。 ・観光協会との連携を強化しながら、観光協会の自主的運営に向けた支援を進めます。 ・引き続き、国内外に向けた効果的な情報発信に取り組みます。	
7 二次評価（港区行政評価委員会による評価）		
政策の達成度	☒ A:達成 ☐ B:概ね達成 ☐ C:達成が不十分	
	・施策「観光情報の収集」「観光資源の発掘、活用と観光ルートの創出」については、大半の活動指標が目標に達しており、成果目標を達成しています。 ・観光ボランティアガイドなど区民が積極的に活動しており、区民・区・観光協会の連携が進んでいることも評価できます。 ・政策としても総合して成果目標を達成しているものと評価します。	
今後の政策の方向性 重点的に取り組む施策・課題	・多様な施策に取り組んでおり、今後もより一層充実・強化する方向で取り組む必要があります。特に、旅行者への情報提供の充実に向けたアプリの活用やフリーWi-Fiの整備が必要です。さらに、映画やドラマのロケに関するフィルムコミッションを推進することで、ロケ地としての利用の拡大が期待できます。 ・観光政策を展開する上では、区民も大事な協力者であることを意識し、区民の理解と協力を得ながら推進する必要があります。	

施策評価シート

施策① 国内外に向けた戦略的なシティプロモーションの推進					A：達成、B：概ね達成、C：達成が不十分	
施策担当課	観光政策担当	関係課		評価	B：概ね達成	
成果目標	多様な主体と連携・協働したプロモーションが活発に展開され、港区の認知度や都市のイメージが向上している					
成果目標の達成状況及び評価	区だけではなく、区民や区に関わる人が観光大使として活躍し、多くのホテル等がシティプロモーションツールの配置に協力、企業、団体等もクルーとして港区の魅力発信を行っており、区に関わる多くの人々が一体となりプロモーションを行っています。 また、広く世界に区の魅力を発信するため映像を作成、配信方法もSNSを用いるなどし、多くの視聴回数となっています。					
今後の施策の方向性・課題	より多くの人にシティプロモーションを認知してもらうための周知方法に更なる工夫が必要です。新型コロナウイルス感染症の影響による計画変更に対応する検討が必要です。					
施策の推進のため取り組んでいる事業						
1 ホテル・旅館等を活用したシティプロモーションの推進					観光政策担当	
活動指標	H29（2017） （当初）	R2（2020） （目標）	H30（2018） （実績）	R元（2019） （実績）	R2（2020） （予測）	達成状況
シティプロモーションツール「とっておきの港区」の配置客室数	7,730室	10,000室	8,056室 （+326室/年）	10,158室 （+2,102室/年）	10,500室 （+342室/年）	A：達成
達成状況	R2年度の目標はすでに達成できました。達成の要因としては、R元年度の夏号から紙面をリニューアルし、ビジュアル重視、A4サイズからA5サイズに縮小したことで持ち帰りやすくなったことが挙げられ、多くのホテルから客室設置の協力を得ることができました。					
今後の方向性・課題	新型コロナウイルス感染症発生の影響で、区内ホテルの稼働率が低下しており、作成したツールの残数が増加傾向にあるため、他の施設で配布するなどの検討が必要です。					
2 ワールドプロモーション映像の発信					観光政策担当	
活動指標	H29（2017） （当初）	R2（2020） （目標）	H30（2018） （実績）	R元（2019） （実績）	R2（2020） （予測）	達成状況
ワールドプロモーション映像のYouTube動画視聴回数	1,100,000回	4,000,000回	1,944,834回 （+844,834回/年）	3,252,837回 （+1,308,003回/年）	4,000,000回 （+747,163回/年）	A：達成
達成状況	SNS等における放映、動画配信コンテンツへのアップロードやインフルエンサーに活用等多角的に発信しています。また、英語、中国語（簡体字・繁体字）、ハングルと多言語で作成し国内外に広く発信しています。YouTubeの動画視聴回数は順調に伸びています。					
今後の方向性・課題	海外からの観光客の誘致をより進めるため、海外での視聴回数が上がる工夫が必要です。					

3 多様な主体との協働によるシティプロモーションの推進						観光政策担当
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
「MINATOシティプロモーションクルー認定事業」の認定件数（助成上限：区分A 100万円、区分B 10万円、区分C なし）	区分A 4件 区分B 3件 区分C 3件	区分A 5件 区分B 10件 区分C 15件	区分A 3件 区分B 3件 区分C 4件	区分A 7件 区分B 2件 区分C 1件	区分A 5件 区分B 10件 区分C 15件	B：概ね達成
達成状況	令和2年度からは区分Aの助成率を1/2から2/3へ引き上げ、申請者の自己負担を減らすようにしました。認定件数は伸びていますが、区分により認定数に差があります。					
今後の方向性・課題	より多くの方に本制度を活用してもらえよう、区内外に広く周知する方法を検討する必要があります。					
4 公共施設等を活用したシティプロモーションの展開						観光政策担当
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
公共施設等での撮影回数	-	5回/年	0回/年	0回/年	0回/年	C：達成が不十分
達成状況	公共施設は区民の利用を最優先としていること、また、企業等からの要望がないことなどから、企業の撮影や会議レセプションへの積極的な提供実績はありません。					
今後の方向性・課題	新橋SL広場やみなとパーク芝浦等で開催されるイベントについてメディアに取材依頼をかけるなど、会場提供とは別の形で、区の公共施設等を周知していきます。					
5 港区にゆかりのある著名人等と連携したシティプロモーションの推進						観光政策担当
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
港区観光大使（仮称）の認定数	—	3人	69人 (+69人/年)	72人 (+3人/年)	75人 (+3人/年)	A：達成
達成状況	検討段階では、区に在住、またはゆかりのある著名人等を観光大使として任命する予定でしたが、対象を、区内在住、在勤、在学のほか、活動拠点が区にあるなど、「港区とゆかりがあり、港区に愛着を持ち、港区の魅力を積極的に発信してくれる方」に広げたため、認定数が大幅に上回りました。					
今後の方向性・課題	現在、観光大使は個々の活動が主となっていますが、今後は区の事業との連携についても検討していく必要があります。					

施策評価シート

施策② 観光情報の収集・管理と観光客の視点に立った情報発信					A：達成、B：概ね達成、C：達成が不十分	
施策担当課	観光政策担当	関係課		評価	A：達成	
成果目標	国内外からの観光客に対する観光情報が充実し、多言語での情報発信が実施されている					
成果目標の達成状況及び評価	令和元年度はラグビーワールドカップ日本大会の開催に合わせ、多言語で表記した「観光マップ」や「旅行系情報誌」を発行したり、観光ボランティアによるまち歩き事業で日本文化を紹介するなど、様々なインバウンド向けの情報発信を行いました。					
今後の施策の方向性・課題	新型コロナウイルスの影響により、観光ではインバウンド需要が特に大きく落ち込む中、有効かつ確かな情報発信方法について検討する必要があります。					
施策の推進のため取り組んでいる事業						
1 ICTを活用した観光情報の発信					観光政策担当	
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
「港区観光協会」ホームページのアクセス数	350,000回	600,000回	364,143回 (+14,143回/年)	482,631回 (+118,488回/年)	600,000回 (+117,369回/年)	A：達成
活動指標にあげた事業にかかった経費（単位：千円）	-		活動指標の単位当たり経費 (単位：千円)		-	
達成状況	港区観光協会のホームページは平成30年度末にリニューアルを図り、デザインの的にも内容的にも、見る人へ強く訴求するものとなりました。それにより、アクセス数が飛躍的に伸びています。					
今後の方向性・課題	ブラウザ検索で上位に表示させるなど工夫するとともに、各SNSと連動したコンテンツ発信に努め、アクセス数増加を目指します。					
2 観光データベースの整備					観光政策担当	
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
観光データベースの登録件数	410件	-	410件 (±0件/年)	-	-	-
達成状況	平成30年度に観光データベースの情報を港区観光協会のホームページに統合したことで、「観光データベース」コンテンツは廃止となりました。観光情報を協会ホームページで一元化管理することで、利用者により分かりやすく情報を提供することが可能となりました。					
今後の方向性・課題	情報の鮮度に留意してデータ更新を行っていくよう、協会に働きかけながら連携していく必要があります。					
3 観光マップ、観光情報誌等の作成					観光政策担当	
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
観光情報誌の発行部数	-	50,000部/年	85,500部/年	48,000部/年	48,000部/年	A：達成
達成状況	観光マップは日、英、中、韓で、観光ガイドブック及び歴史観光ガイドブックは日、英で作成し、区有施設や区内観光施設等で配布しています。 なお、観光ガイドブックは、令和元年度から港区観光協会が発行する「旅行系情報誌」と統合したため、令和元年度実績及び令和2年の予測発行部数には含めていません。					
今後の方向性・課題	新型コロナウイルスの影響で令和2年度の観光客数が激減していることから、必要な発行部数を再検討する必要があります。					

4 外国人向け観光情報の充実						観光政策担当
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
facebook (日本語、英語、ハングル) 及びweibo (中国語) のフォロワー数	30,000人	75,000人	52,941人 (+22,941人/年)	61,781人 (+8,840人/年)	72,000人 (+10,219人/年)	A:達成
達成状況	「初詣」や「花見」、「イルミネーション」など、観光客に人気の高いテーマを時期を定めて頻度高く更新することで、フォロワー数を着実に増やしています。					
今後の方向性・課題	引き続き観光協会と連携した充実した情報提供を図るとともに、他のSNSとの連動や、コンテンツの見直しも検討していきます。					
5 多様な観光客に対応した観光情報の発信						観光政策担当
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
バリアフリー観光ルートの対応言語数	1 か国語	4 か国語	2 か国語 (+1 か国語)	4 か国語 (+2 か国語)	4 か国語 (±0 か国語)	A:達成
達成状況	「バリアフリーまち歩きMAPin港区」について、平成29年度に日本語版、平成30年度に英語版、令和元年度に中国語版（繁体字・簡体字）とハングル版を作成し、4 か国語を観光インフォメーションセンター等で配布しています。					
今後の方向性・課題	紙媒体以外での情報提供方法についても検討していきます。					

施策評価シート

施策③ 快適な都市観光を満喫できる環境づくり					A：達成、B：概ね達成、C：達成が不十分	
施策担当課	観光政策担当	関係課		評価	B：概ね達成	
成果目標	観光客の受入体制が充実し、通信環境や観光案内等が整備されている					
成果目標の達成状況及び評価	区を訪れる誰もが快適に観光できる受け入れ体制を整備しました。「高機能型観光案内標識の設置」については検討ののち、費用対効果の件から実施を見送りましたが、その他の事業は高い達成率となりました。特に「観光ボランティアまち歩き事業の実施回数」は目標を大きく上回りました。					
今後の施策の方向性・課題	新型コロナウイルス感染症収束後の観光需要を見据え、観光客を受け入れる環境整備を確実に進める必要があります。					
施策の推進のため取り組んでいる事業						
1 観光案内活動の促進					観光政策担当	
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
観光ボランティア育成講座修了者数	153人	243人	194人 (+41人/年)	220人 (+26人/年)	240人 (+20人/年)	A：達成
活動指標にあげた事業にかかった経費（単位：千円）	3,424		活動指標の単位当たり経費 (単位：千円)		-	
達成状況	従来の目標値を上回るペースでボランティアガイドの育成を継続しています。また、修了生を対象にしたスキルアップ講座を毎年5回実施し、ガイドレベルの維持向上に取り組んでいます。					
今後の方向性・課題	育成講座修了後、実際にガイドとして継続的に活躍できる仕組みを検討する必要があります。					
2 観光関係事業者等と連携した観光案内及び都市型観光産業の振興					観光政策担当	
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
港区観光協会の会員数	135社	150社	135社 (±0社/年)	144社 (+9社/年)	150社 (+6社/年)	A：達成
活動指標にあげた事業にかかった経費（単位：千円）	-		活動指標の単位当たり経費 (単位：千円)		-	
達成状況	毎年、一定数の脱退数が発生していますが、それを上回る新規参入数があり、会員数は緩やかに増加しています。					
今後の方向性・課題	協会加入のメリットである情報発信力を強化して会員数の増加につなげていくとともに、協会が会員主体の意志ある団体となるよう区として支援していく必要があります。					
3 地域の特性を踏まえた観光振興の促進					観光政策担当	
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
観光ボランティアまち歩き事業の実施回数	70回/年	80回/年	283回/年	279回/年	150回/年	A：達成
活動指標にあげた事業にかかった経費（単位：千円）	10,858		活動指標の単位当たり経費 (単位：千円)		-	
達成状況	当初の目標を大幅に上回る数のガイドを実施できています。令和元年度はラグビーワールドカップ開催期間中に、外国人観光客へのガイドや公募型の舟運ナイトツアーを実施し、国内外の参加者から好評をいただきました。					
今後の方向性・課題	時勢によって変化する観光客のニーズに合ったガイドを提供できるような仕組みを構築する必要があります。					

4 観光・街区案内標識の充実							観光政策担当
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況	
観光・街区案内標識の設置数	190か所	220か所	204か所 (+14か所/年)	210か所 (+6か所/年)	215か所 (+5か所/年)	B:概ね達成	
活動指標にあげた事業にかかった経費(単位:千円)	33,286		活動指標の単位当たり経費 (単位:千円)		-		
達成状況	平成30年度に新規案内標識の設置に当たり、道路管理者との設置協議が難航したことによる一部未達成部分を除き、概ね達成できています。						
今後の方向性・課題	事業の目標値である220か所の達成に向け、引き続き関係各所と連携を図ります。 また、まちの再開発などで盤面更新が必要なエリアについては、その都度、必要性和時期を見定め、実施していきます。						
5 観光情報インフラの整備							観光政策担当
活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況	
高機能型観光案内標識の設置数	-	5か所	0か所 (±0か所/年)	0か所 (±0か所/年)	0か所 (±0か所/年)	C:達成が不十分	
活動指標にあげた事業にかかった経費(単位:千円)	-		活動指標の単位当たり経費 (単位:千円)		-		
達成状況	指標として設定した高機能型観光案内標識の設置については、改めて費用とその効果を検討した結果、区が主体的に設置することは効果的な手法とはいえないとの判断に至り、未達成となっております。						
今後の方向性・課題	既存の観光・街区案内標識の計画的な新設及び更新や、区有デジタルサイネージの活用、Minato City Wi-Fi整備、観光協会等と連携した多言語情報発信等により、観光情報インフラを整備します。						

施策評価シート

施策④ 観光資源の発掘、活用と観光ルートの創出					A：達成、B：概ね達成、C：達成が不十分	
施策担当課		観光政策担当		関係課	評価	A：達成
成果目標		観光ルートやイベント等が充実し、港区観光の質が向上している				
成果目標の達成状況及び評価		区の多彩な観光資源を活用し、観光協会や観光関係事業者、観光ボランティアガイドなど、多様な主体と連携しながら観光資の発掘と観光ルートの創出に取り組んでいます。 各事業の活動指標の達成率は、2事業が「達成」、2事業が「概ね達成」となっており、特に「観光ボランティアまち歩き事業の基本コース数」は目標を大きく上回りました。				
今後の施策の方向性・課題		新型コロナウイルス感染症収束後の観光需要回復を目指し、観光協会や事業者、全国自治体等と連携した取組を強化する必要があります。				
施策の推進のため取り組んでいる事業						
1 観光フォトコンテストの実施						観光政策担当
活動指標		H29（2017） （当初）	R2（2020） （目標）	H30（2018） （実績）	R元（2019） （実績）	R2（2020） （予測） 達成状況
観光フォトコンテストの応募作品数		1,200作品/年	1,350作品/年	1,249作品/年	1,206作品/年	1,300作品/年 A:達成
活動指標にあげた事業にかかった経費（単位：千円）		4,500		活動指標の単位当たり経費（単位：千円）		-
達成状況		通常のカメラ部門に加え、スマホ部設や、中高生を対象とした部門を設けるなど、毎年工夫を凝らして実施しており、多くの応募があります。 受賞作品を区有施設や会員企業の会場で展示するなど、コンテストの認知度向上を図っています。				
今後の方向性・課題		近年、応募数が横ばいの状況が続いているため、新たな周知方法を検討する必要があります。				
2 魅力的な観光ルートの設定						観光政策担当
活動指標		H29（2017） （当初）	R2（2020） （目標）	H30（2018） （実績）	R元（2019） （実績）	R2（2020） （予測） 達成状況
観光ボランティアまち歩き事業の基本コース数		8コース	12コース	20コース （+12コース/年）	20コース （±0コース/年）	20コース （±0コース/年） A:達成
活動指標にあげた事業にかかった経費（単位：千円）		10,858		活動指標の単位当たり経費（単位：千円）		-
達成状況		当初の目標を大幅に上回るペースで基本コース数を設計・企画しています。「芝・新橋」「赤坂・青山」「麻布・六本木」「高輪・白金」「芝浦・台場」の各地域に4コースずつ設定し、港区の魅力を満喫できるコースを提供しています。				
今後の方向性・課題		日々変化する街や新たな名所、スポット等を含めたコースを追加・企画する必要があります。また、既存のコースについて効果的な周知方法を検討する必要があります。				

観光政策担当

4 ものづくり・商業観光フェアの充実

観光政策担当

5 区内の多彩な観光資源を活用したイベント等の実施

観光政策担当

活動指標	H29 (2017) (当初)	R2 (2020) (目標)	H30 (2018) (実績)	R元 (2019) (実績)	R2 (2020) (予測)	達成状況
全国交流物産展の来場者数	157,094人/年	166,000人/年	150,318人/年	73,704人/年	100,000人/年	B: 概ね達成
活動指標にあげた事業にかかった経費 (単位: 千円)	8,144		活動指標の単位当たり経費 (単位: 千円)		-	
達成状況	目標とする来場者数は概ね達成しています。 ※令和元年度については台風の影響を受け、来場者が減少しました。					
今後の方向性・課題	新型コロナウイルス感染症の感染状況等、今後の社会状況を注視しながら、目標値の設定方法を見直す必要があります。					